

Pickles Framework

Introduction of “Pickles Framework”

2014.3.25a6 Tomoya Koyanagi



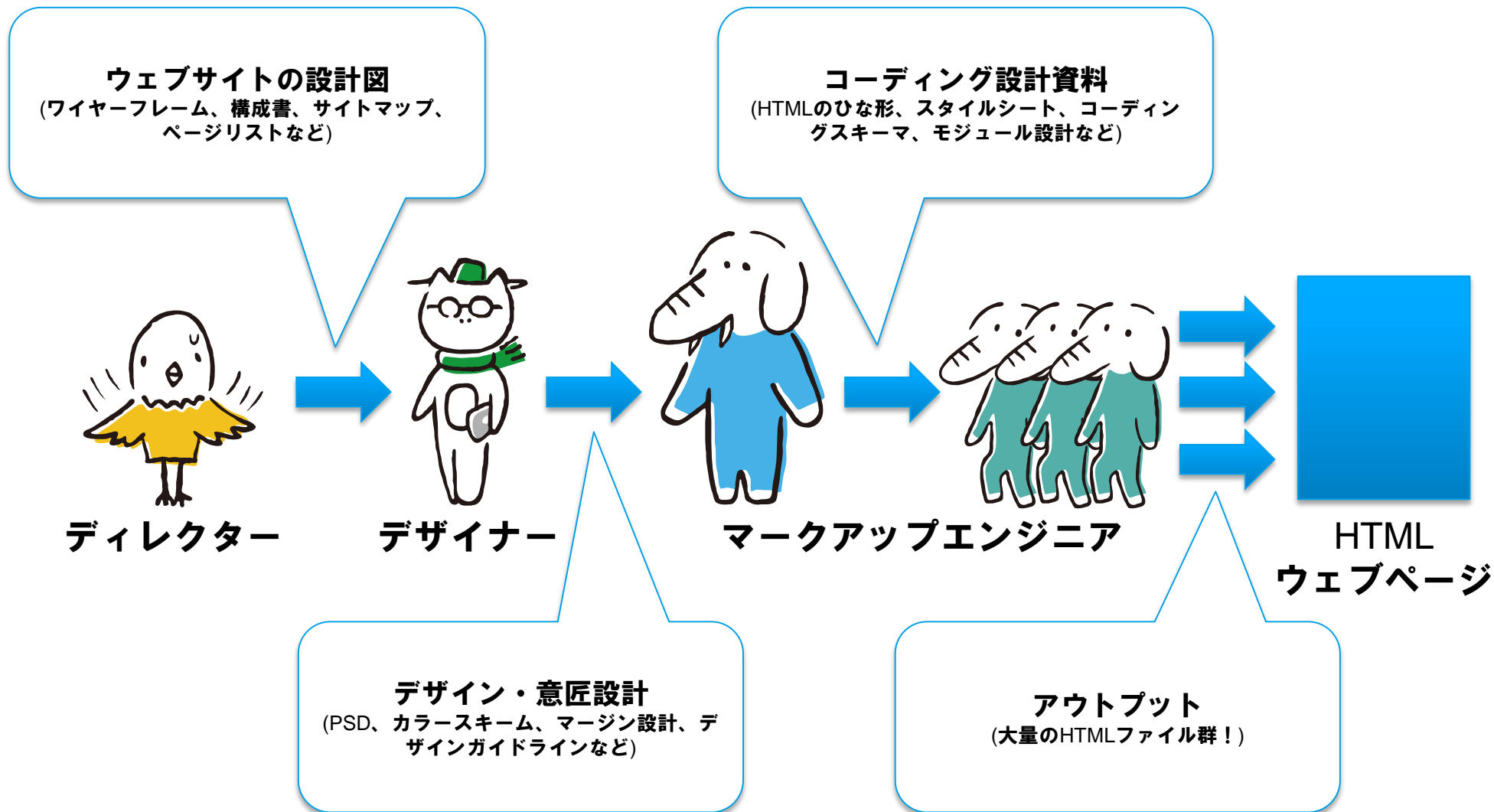
Pickles Framework とは何ですか？

“静的で大きなウェブサイト” が得意な マークアップエンジニアのためのフレームワークです。

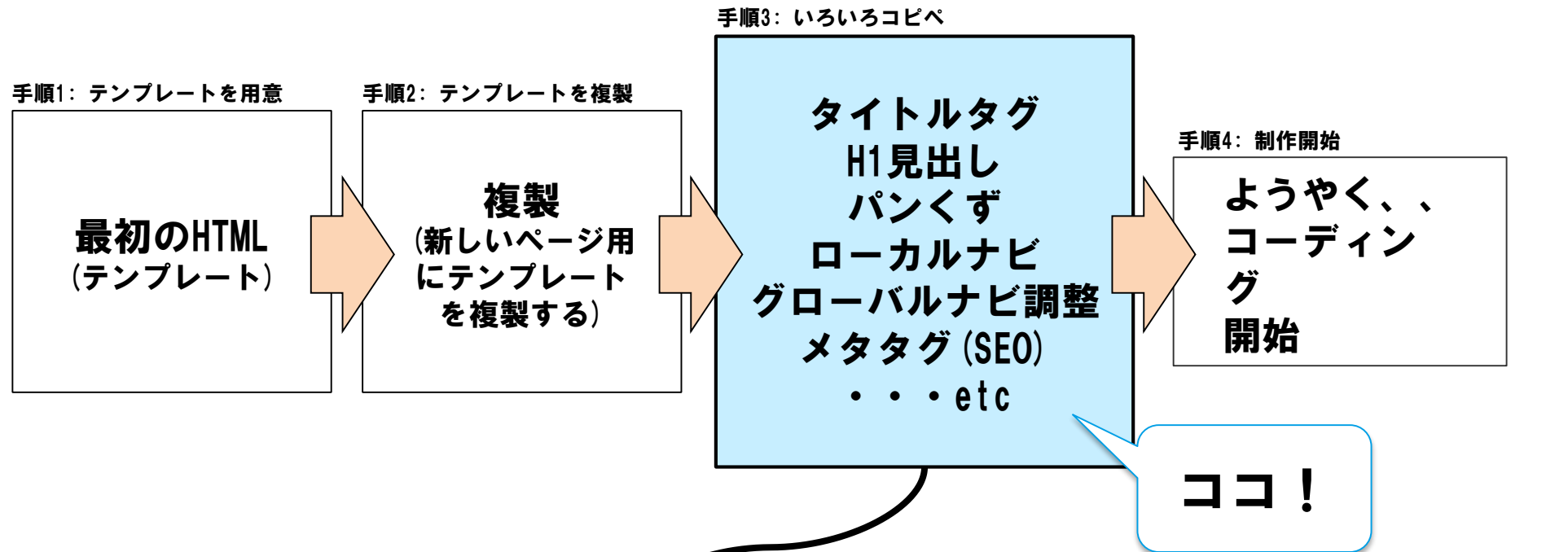
- 数100ページ、数1000ページ規模の大きなウェブサイト。
- 10～20人の体制で作るような、大所帯のプロジェクト。
- スタティックなHTMLで表現する、たとえば企業サイトやカタログサイト。
- デザインや構成要素がなかなか決められない、新規サイト構築のお仕事。

ウェブ制作の現場では、分業で仕事をする事が多くなりました。

分業だから、コミュニケーションのための中間成果物がたくさん作られます。

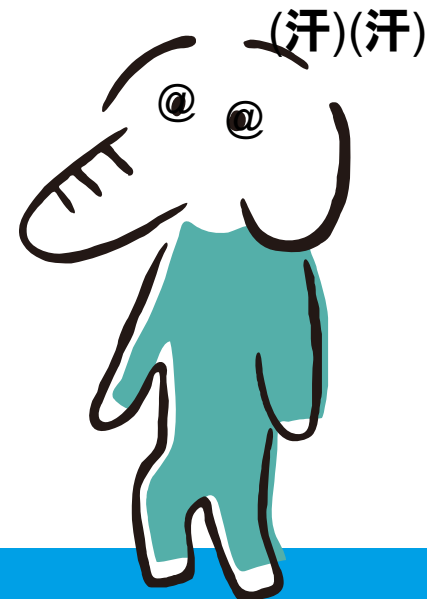


従来のコーディングの手順は、“機械的な作業”がなかなか多くて大変です。



機械的な作業、意外と負担が大きい！

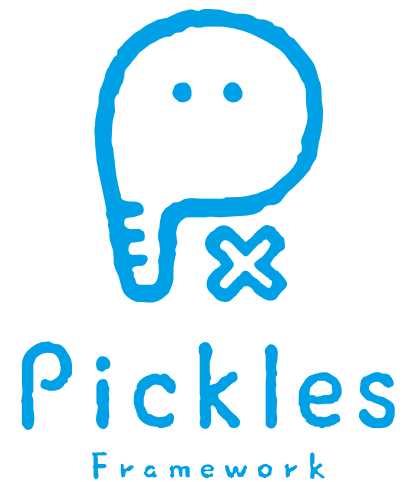
- いっぱいいじるところがあって、**とにかく大変！**
- 実は同じ情報を**何回もコピペ**している。
タイトル、H1、パンくず、メニュー・・・全部同じラベル！
- ミスが起こりやすい。
ずっと似たようなソースコードを見ていると、
ゲシュタルト崩壊を起こして、**なんかヘンなものに見えてくる。**



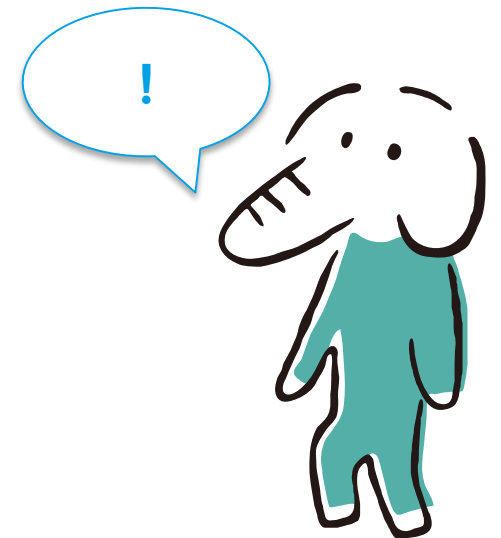
機械的な作業、チェックするのもたーいへん！



- 全部のページの**全部のリンク**を押してみないといけません。
ローカルナビに10ページ分のリンクがあったら、
10×10=100個のリンクを確認しなければいけません。
- パンくずも全部押してみないといけません。
階層が深いページほど苦痛！
- メタタグとかはソースを開かないと見えません。
ソースコードも確認します。(ほとんど同じなのに...！)
- ミスってても見つけられなくなります。
ずっと似たような文字を読んでいると、
ゲシュタルト崩壊を起こして**全部まちがってる**ように見えてきます。



機械的な作業は、機械がやった方が、早くて正確なのダ！



それって、CMS入れたら解決じゃないの？

ホッ..



CMSといえば、例えばこういうの。

Autonomy
TeamSite

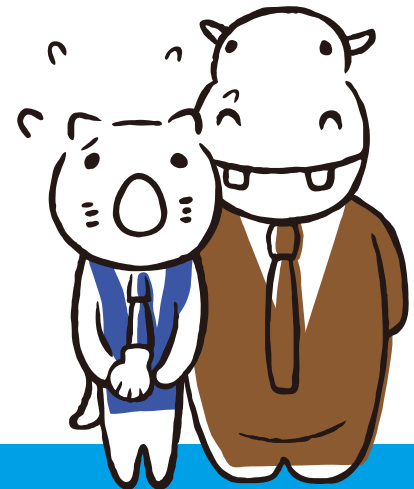


NOREN
FOR WEB BRANDING

WebRelease 2

SDL tridion

MOVABLE TYPE™



**こんなにたくさんある便利なCMSたち。
静的なウェブ制作の仕事にも使えばいいじゃないか！**

と、思いきや・・・。

**しかし、CMSの多くはノンエンジニアのためのもの。
マークアップエンジニアの仕事には、
なかなかマッチしません。**

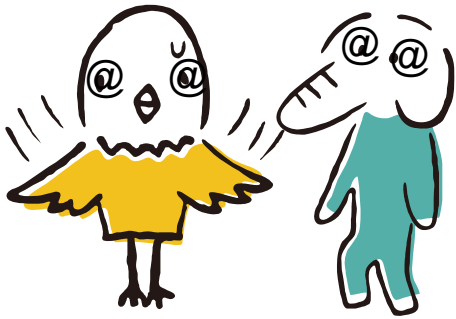
セットアップが大変。
コマンドラインを使えないとインストールできない！
データベース・サーバーがないと動かない！



Pickles Framework は、
PHP5が動作する環境ならたいいていすぐに動きます。
MySQLなどのデータベースも使いません。



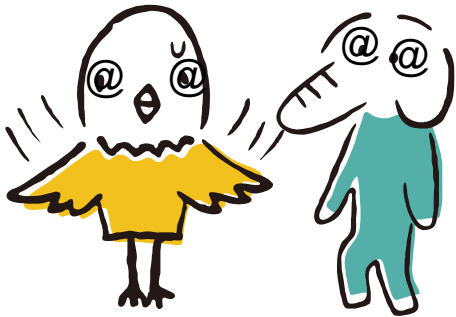
ページ編集の手段が制限される。 WISIWIGなどウェブアプリ上の 管理画面でしか編集できない、とか！



Pickles Framework のコンテンツデータは、基本的にただのHTMLです。エンジニアたちが普段使い慣れている好きなテキストエディタで編集することができます。



コンテンツデータがデータベースに入ってしまう。
複数ページにまたがる変更をするときに、
置換ツールが使えない！



Pickles Framework は、コンテンツや一覧の情報もテキスト
ファイル形式で定義します。

広範囲なページに大量の修正指示があっても、テキストエ
ディタに付属のグレップ機能などで対応できます。
特別な機能やSQLなどを習得する必要はありません。



データベースに入ってしまったコンテンツのバージョン管理ができない！



Pickles Framework は、コンテンツや一覧の情報もテキストファイル形式で定義します。
なので、SVNやGitにコミットして、プログラムソースコードと同じようにバージョン管理することができます。

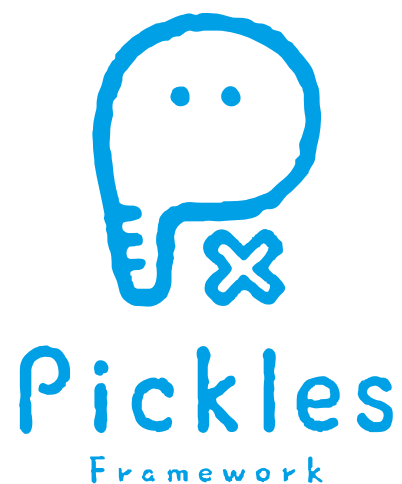


高性能すぎて使いこなせない！
そして、お高い！

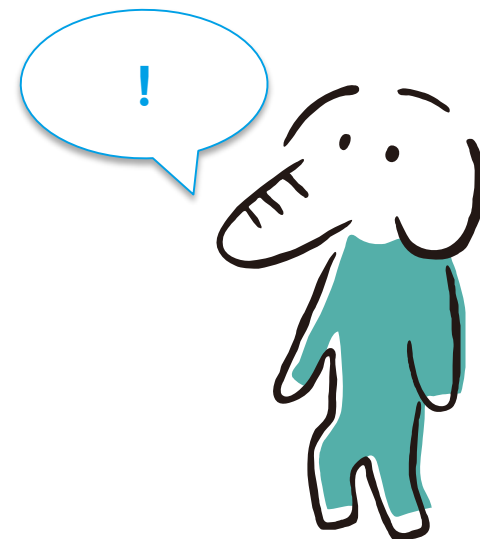


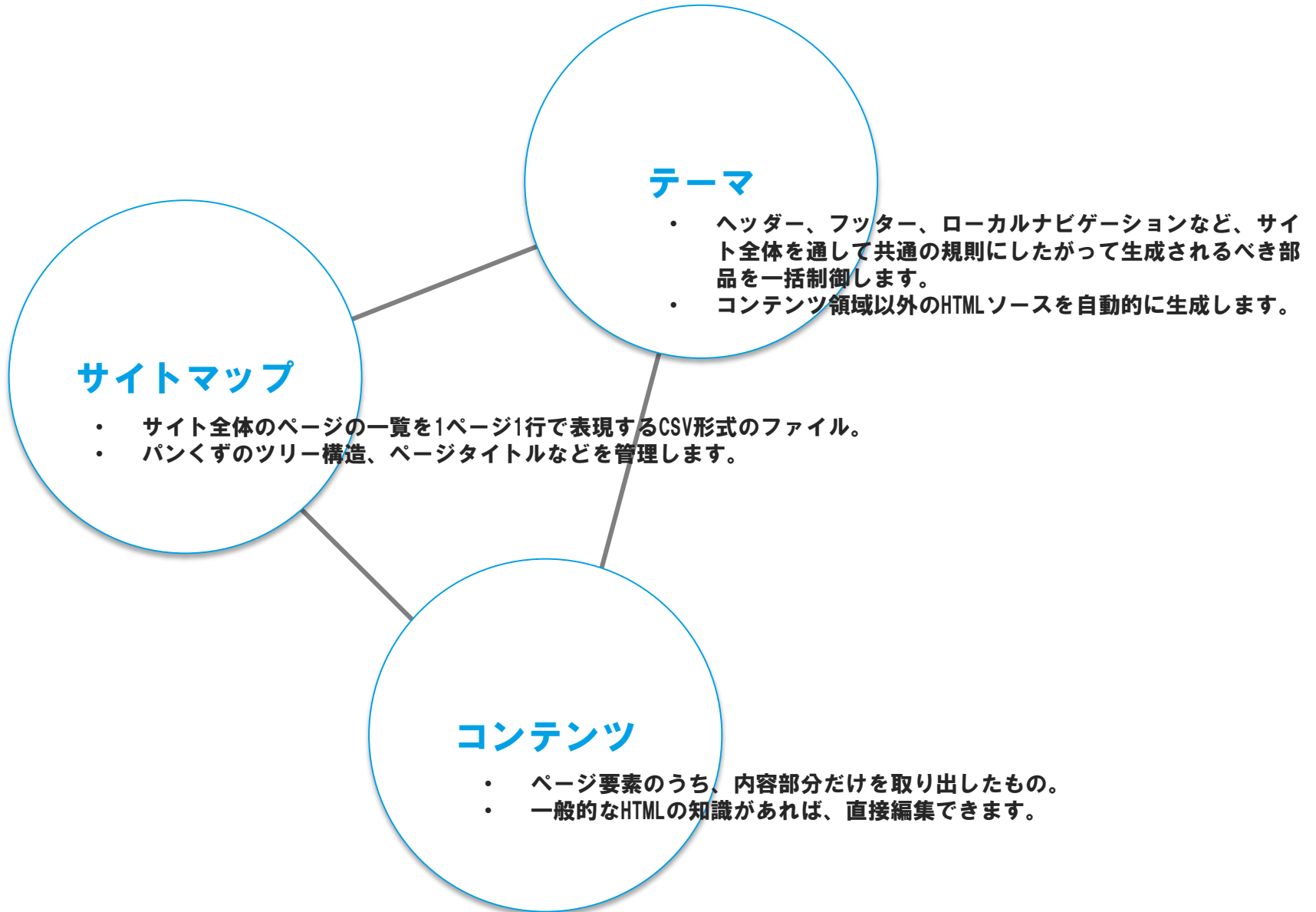
Pickles Framework は、フリーで使えるシンプルなツールです。
コスト的にも機能的にも、大変気軽に導入できます。





Pickles Framework は、ちょうどよいのだ！





Pickles Framework にできること。

1. ページ名やパンくずの階層などの情報を、CSVファイルで一括管理できます。
2. ヘッダーやフッター、ナビゲーション、パンくず、メタタグなど、スタンダードなウェブデザイン上のルール化できる要素や、コピー＆ペーストする作業のほとんどを、自動的にコーディングします。
3. デザインのテーマを複数定義して、簡単に切り替えたり、再利用できます。
4. たくさんのスタティックなHTMLファイルを生成します。

ようするに、
たくさんのHTMLを制作するときに必要な、
めんどくさい作業を代わりにやってくれます。

実際に、触ってみましょう。

Pickles Framework は、ローカルに立てたサーバーで簡単に動かします。

Windows なら “XAMPP”、MacOSXなら “MAMP” がオススメです。



XAMPP (on Windows)



MAMP (on MacOSX)

まずは、ソースコードをダウンロードします

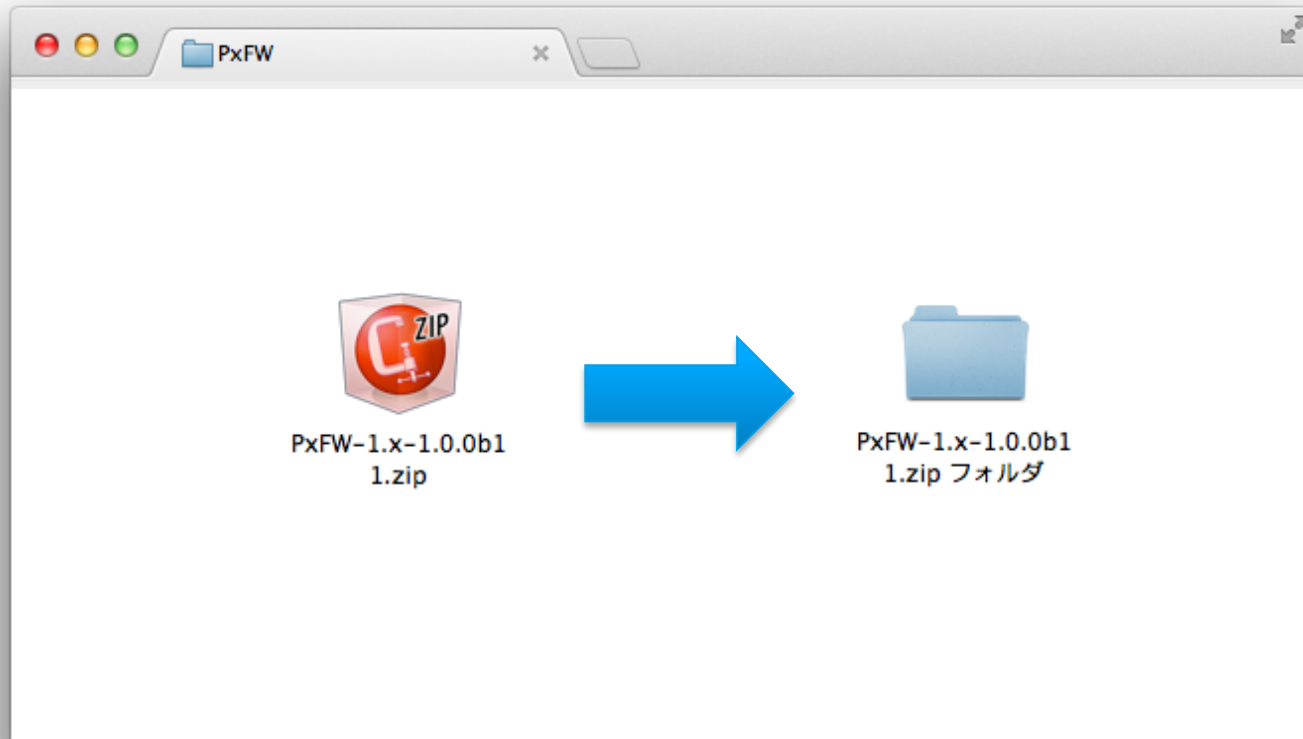
Pickles Framework の公式サイトでお待ちしています。



<http://pickles.pxt.jp/download/>

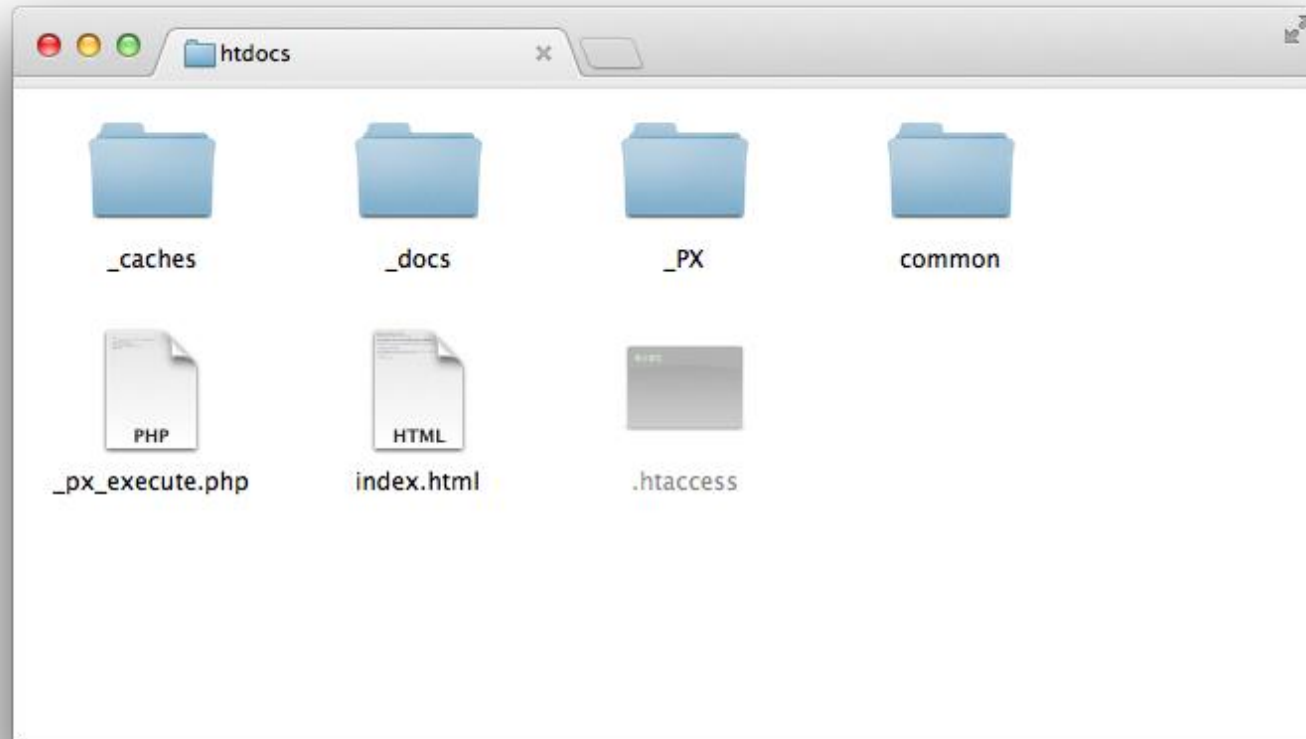
ダウンロードしたZIPファイルを解凍します

ただのZIPファイルです。好きなアーカイブツールを使ってください。



ファイルをウェブサーバーにアップロードします。

PHP5が動作するサーバーなら、だいたい動きます。



これだけで、セットアップは完了です



たった、これだけです。

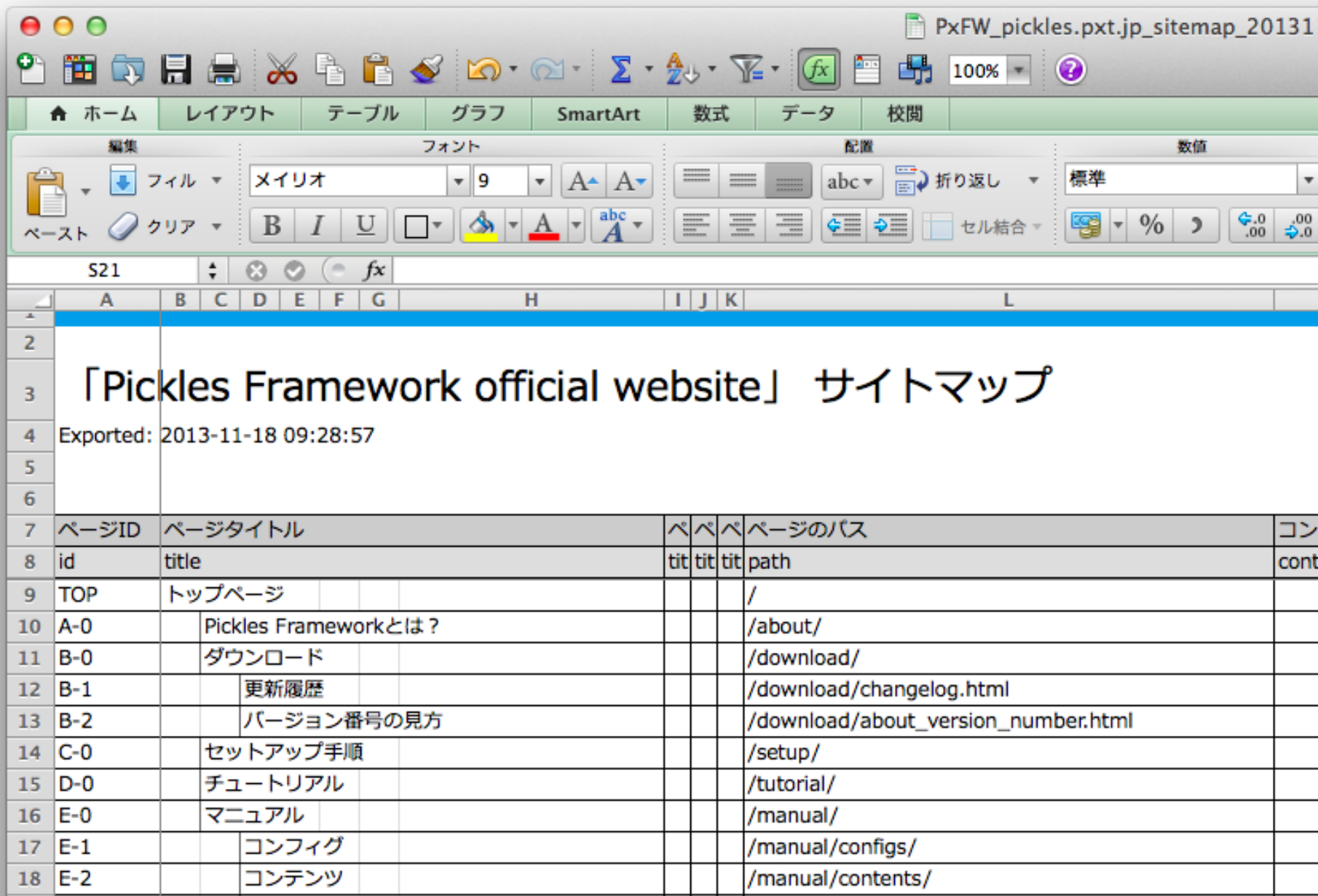
- 特殊なコマンドを覚える必要はありません。
- データベース・サーバーを用意する必要もありません。
- XAMPP や MAMP を使って、あなたのパソコン上でも簡単に動かします。

ウェブページを作ってみます

1. サイトマップを編集します
2. テーマを編集します
3. コンテンツを編集します

まずはじめに、サイトマップ (ページリスト) を作ります

エクセル形式で誰でも簡単に編集できます。



The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet titled "PFW_pickles.pxt.jp_sitemap_20131118". The spreadsheet is in Japanese and contains a site map for the Pickles Framework official website. The main title is "「Pickles Framework official website」 サイトマップ". Below the title, it says "Exported: 2013-11-18 09:28:57". The spreadsheet is organized into columns: A (Page ID), B (Page Title), C (Page Path), and D (Content). The data is as follows:

ページID	ページタイトル	ページのパス	コンテンツ
id	title	path	content
TOP	トップページ	/	
A-0	Pickles Frameworkとは？	/about/	
B-0	ダウンロード	/download/	
B-1	更新履歴	/download/changelog.html	
B-2	バージョン番号の見方	/download/about_version_number.html	
C-0	セットアップ手順	/setup/	
D-0	チュートリアル	/tutorial/	
E-0	マニュアル	/manual/	
E-1	コンフィグ	/manual/configs/	
E-2	コンテンツ	/manual/contents/	

サイトマップ (ページリスト) をインポートします

作ったエクセルファイルを、専用の管理画面にドラッグしましょう。

※この手順には、sitemapExcelプラグインが必要です。

https://github.com/tomk79/PxPlugin_sitemapExcel

The screenshot shows a web browser window with the URL `officialweb.pxfw.localhost/?PX=plugins.sitemapExcel.import`. The page title is "Pickles Framework (version:1.0.0b10-nb)". The main heading is "plugins.sitemapExcel インポートする".

On the left, there are two options for importing:

- サイトマップ(xlsx形式)** (Site Map (xlsx format))
- サイトマップCSVの上書き** (Overwrite Site Map CSV)

The "サイトマップ(xlsx形式)" option is selected. The main content area for this option says:

ファイルを選択してください: ファイルを選択 選択されていません

または

ここにエクセルファイルをドロップしてください。

Below this, there are two radio buttons for the "サイトマップCSVの上書き" option:

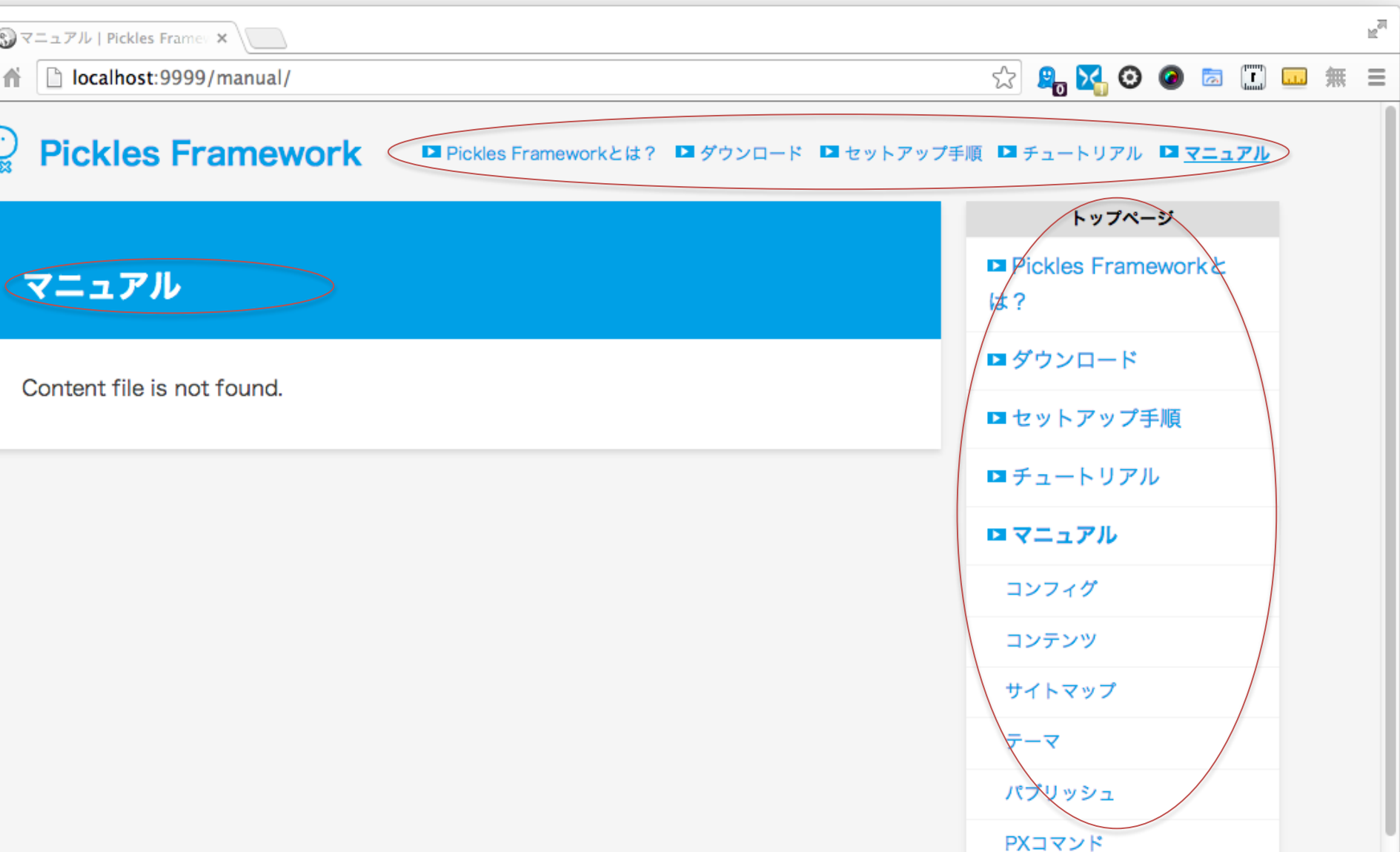
- ☒ サイトマップCSVを直接上書きする (現在のサイトマップCSVは失われます)
- ☐ 直接上書きはせず、ダウンロードする。

At the bottom, there is a button labeled "インポートを実行する".

Overlaid on the right is a window showing an Excel file icon with the text "XLSX" and the filename "PxFW_pxfw_sitemap_20131230_1651.xlsx". A blue arrow points from this icon to the dashed box in the main content area.

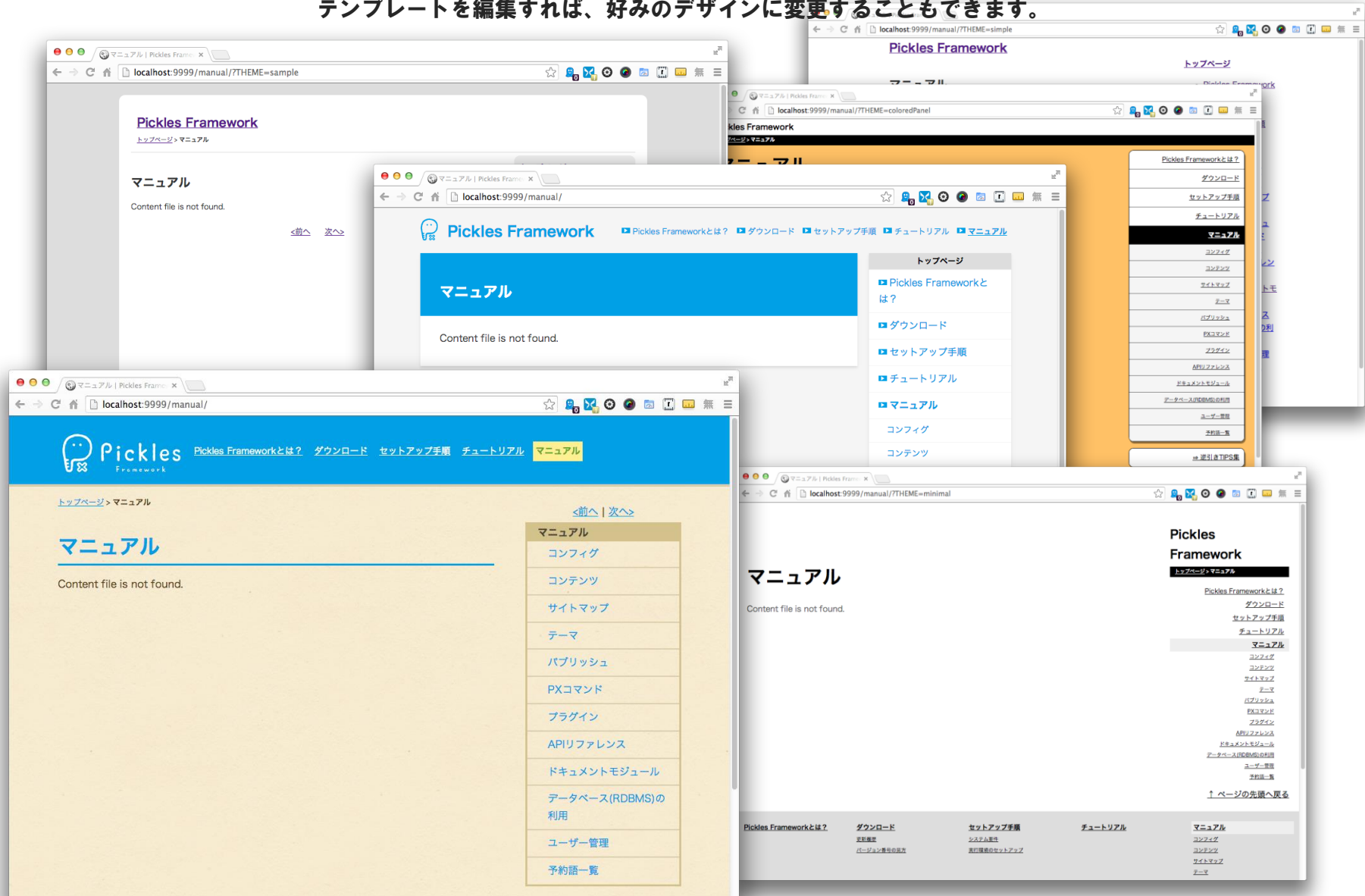
サイトマップの構造が、画面に反映されます

エクセルの内容の通りに、ナビゲーション構造が自動的に生成されます。
もちろん、リンクをクリックして遷移することも可能！



テーマを編集します

テーマを選んで、あなたに合ったデザインに変更しましょう。
テンプレートを編集すれば、好みのデザインに変更することもできます。

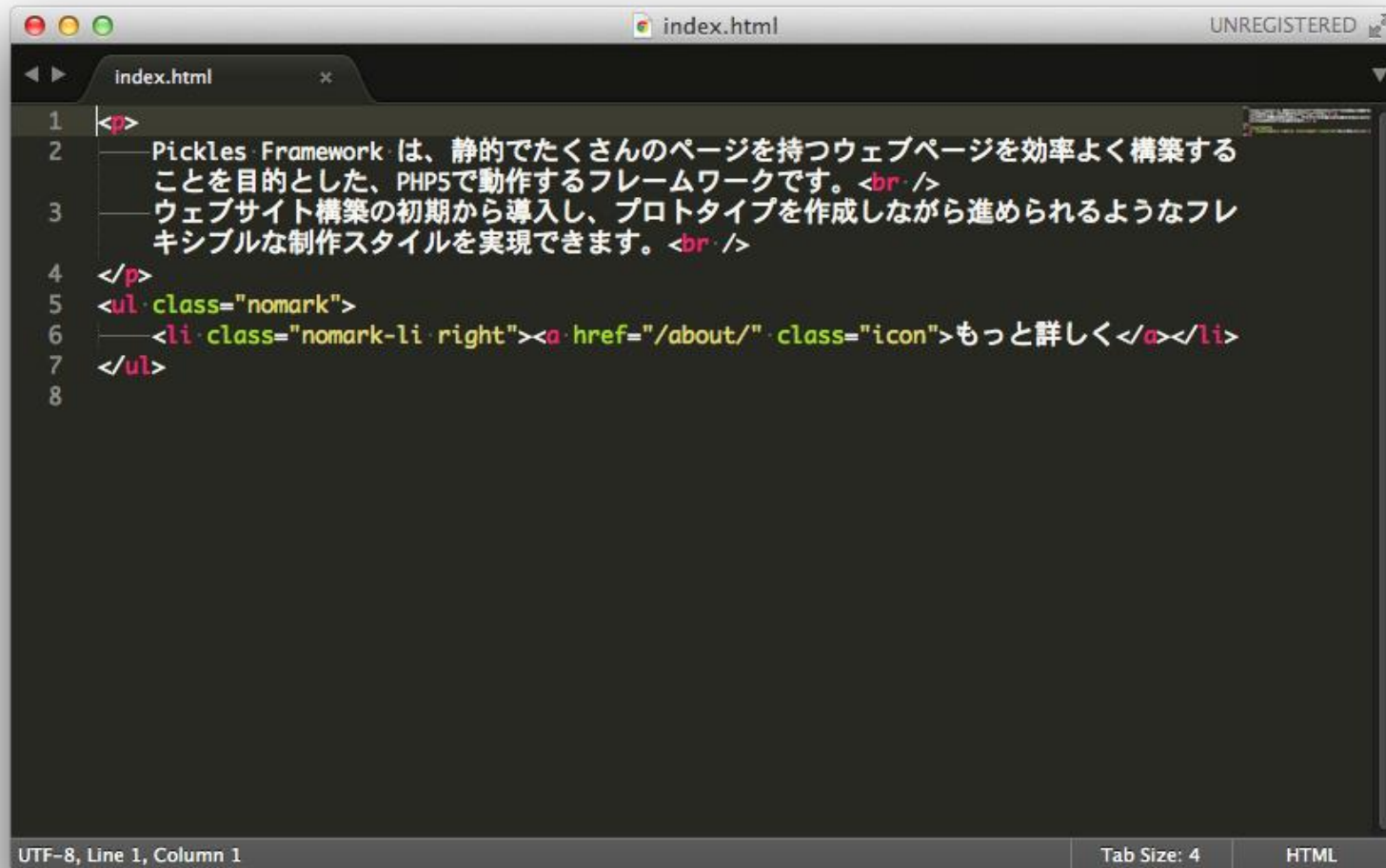


コンテンツを制作します

**コンテンツは、ウェブページの内容部分のことです。
テーマによって自動的に生成できなかった部分を担います。
一般的なHTMLの知識があれば編集することができます。**

コンテンツを制作します

コンテンツは、ウェブページの内容の部分。普通のHTMLで編集します。
ただし、編集が必要なのは、コンテンツの部分だけ。ヘッダーやフッターを書く必要はありません。



```
1 <p>
2   Pickles Framework は、静的でたくさんのページを持つウェブページを効率よく構築する
3   ことを目的とした、PHP5で動作するフレームワークです。<br />
4   ウェブサイト構築の初期から導入し、プロトタイプを作成しながら進められるようなフレ
5   キシブルな制作スタイルを実現できます。<br />
6 </p>
7 <ul class="nomark">
8   <li class="nomark-li right"><a href="/about/" class="icon">もっと詳しく</a></li>
9 </ul>
```

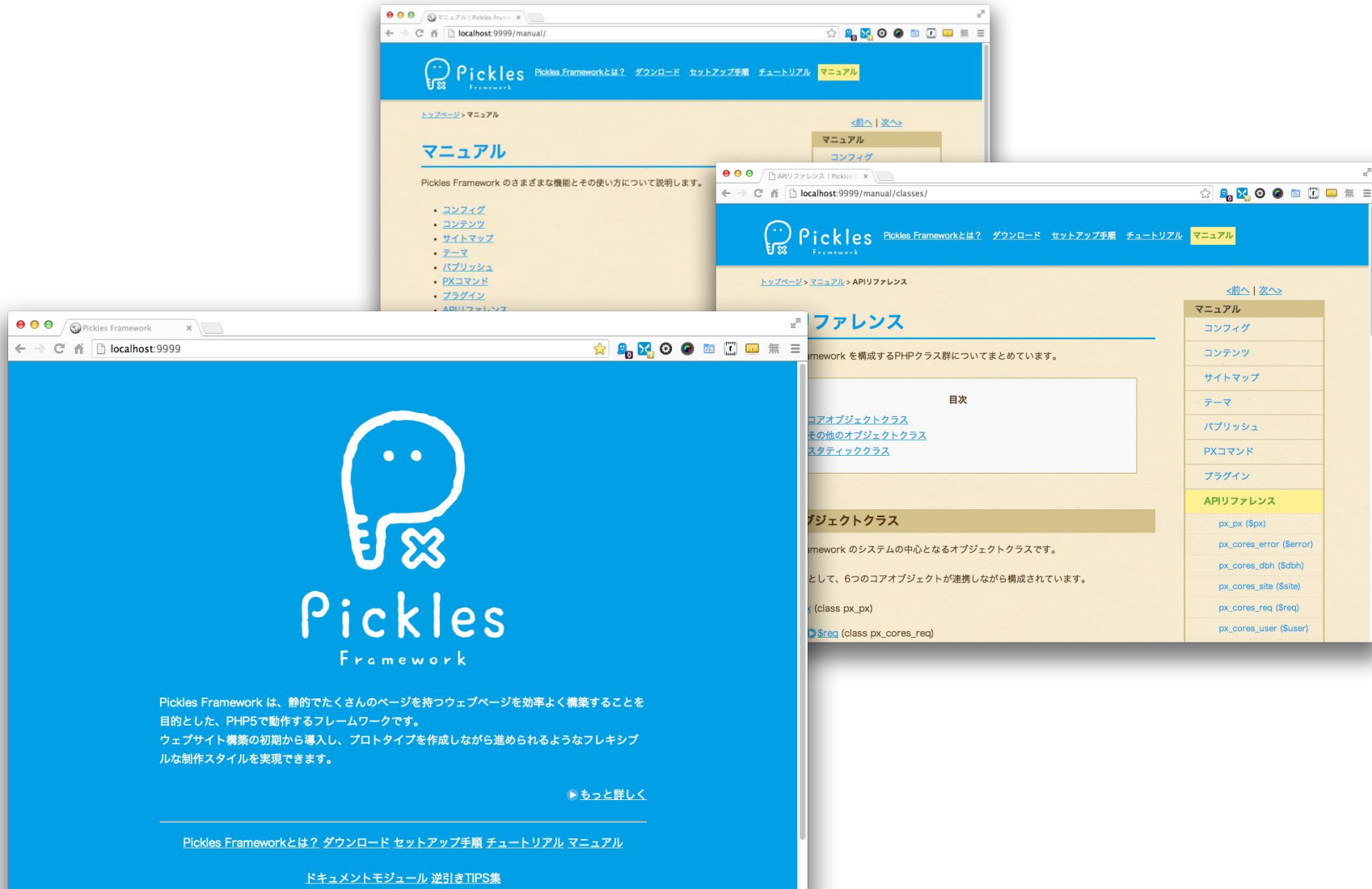
UTF-8, Line 1, Column 1

Tab Size: 4

HTML

コンテンツを制作します

作ったコンテンツをサーバーにアップすれば、テーマの中に入れてウェブページが完成です。
同じように、ほかのページもどんどん作っていきましょう。



静的なウェブページをパブリッシュします

作成したウェブページは、そのまま公開することもできますが、PHPの動的なままでは都合がよくない場合も多いでしょう。

スタティック(静的)なHTMLをパブリッシュすれば、どんなウェブサーバーでも公開できるようになります。

パブリッシュ画面を開きます

操作は簡単。URLに ?PX=publish をつけると表示される管理画面から、ボタンをクリックするだけです。

The screenshot shows the 'publish' page of the Pickles Framework. The browser address bar shows 'localhost:9999/about/?PX=publish'. The page title is 'Pickles Framework (version:1.0.0b11-nb)'. The main heading is 'publish', followed by the instruction 'プロジェクト『Pickles Framework』をパブリッシュします。' (Publish the project 'Pickles Framework'). Below this is a table with two rows: 'パブリッシュ対象のパス' (Path to be published) with value '/about/' and a link '⇒ 変更する' (⇒ Change), and '適用するテーマ' (Theme to apply) with value 'default'. A red circle highlights the '⇒ 変更する' link. An inset window shows the terminal output of the 'publish' command, including the version, project name, command execution details, and a list of files to be published and ignored.

パブリッシュ対象のパス	/about/ ⇒ 変更する
適用するテーマ	default

次のボタンをクリックしてパブリッシュを実行してください。

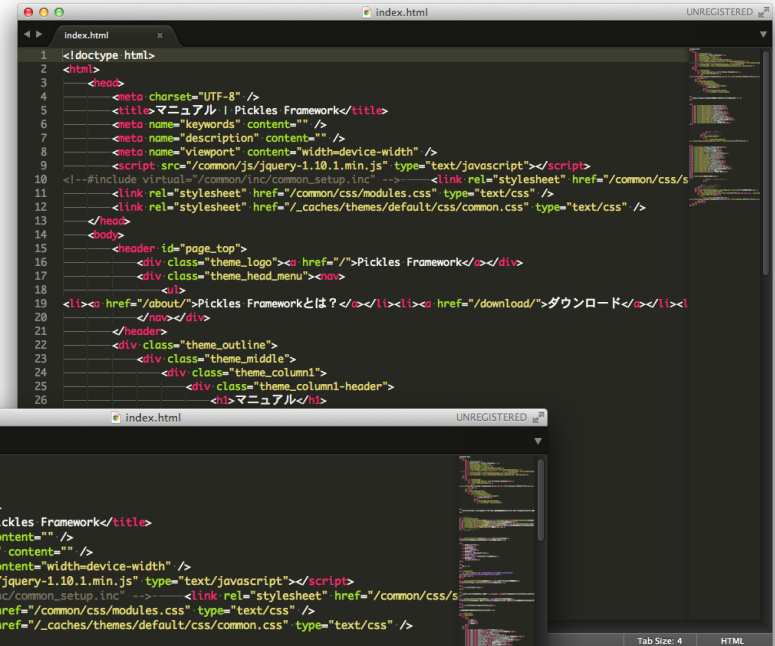
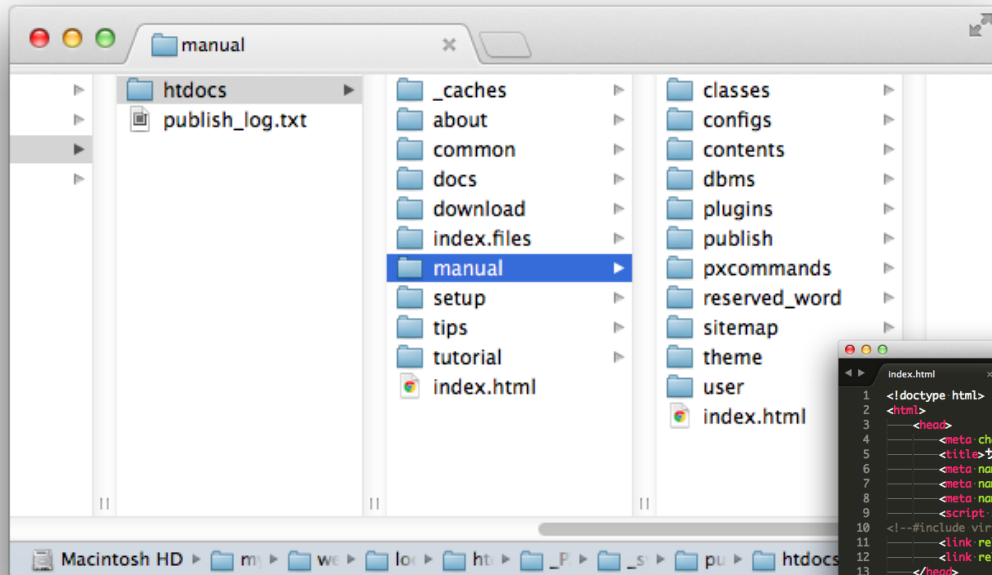
パブリッシュを実行する

コマンドラインから実行する

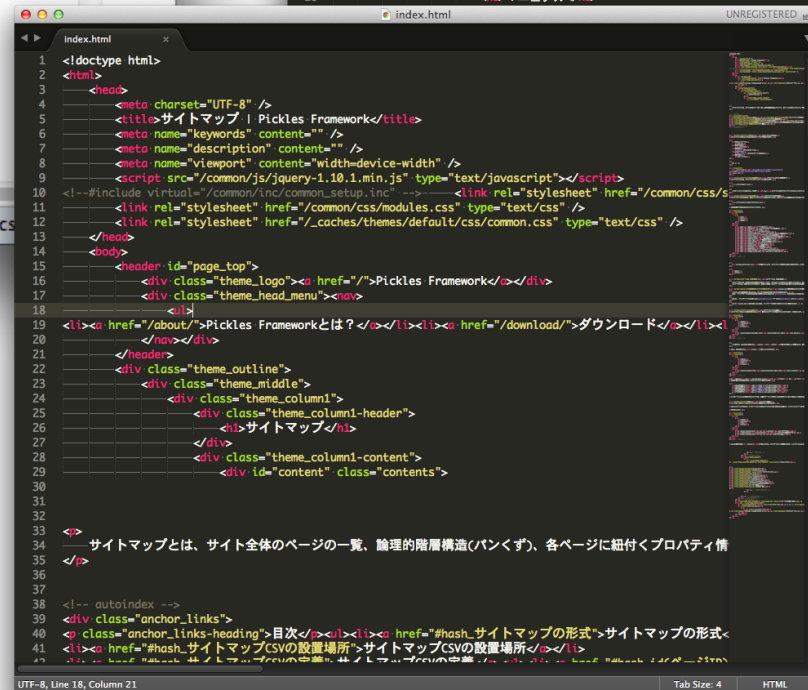
パブリッシュは、次のコマンドから実行することもできます。

スタティックなHTMLファイルが生成されます

テーマとコンテンツが合成され、完成されたHTMLを生成します。
これなら、特別な設定やPHPが動作する必要もなく、どんなウェブサーバーでも公開することができます。



完成されたスタティックなHTMLソース →



これで完成です！

- **あとは、このようにして生成されたHTMLを、公開サーバーに設置するだけ。**

ぜひ一度、さわってみてください。

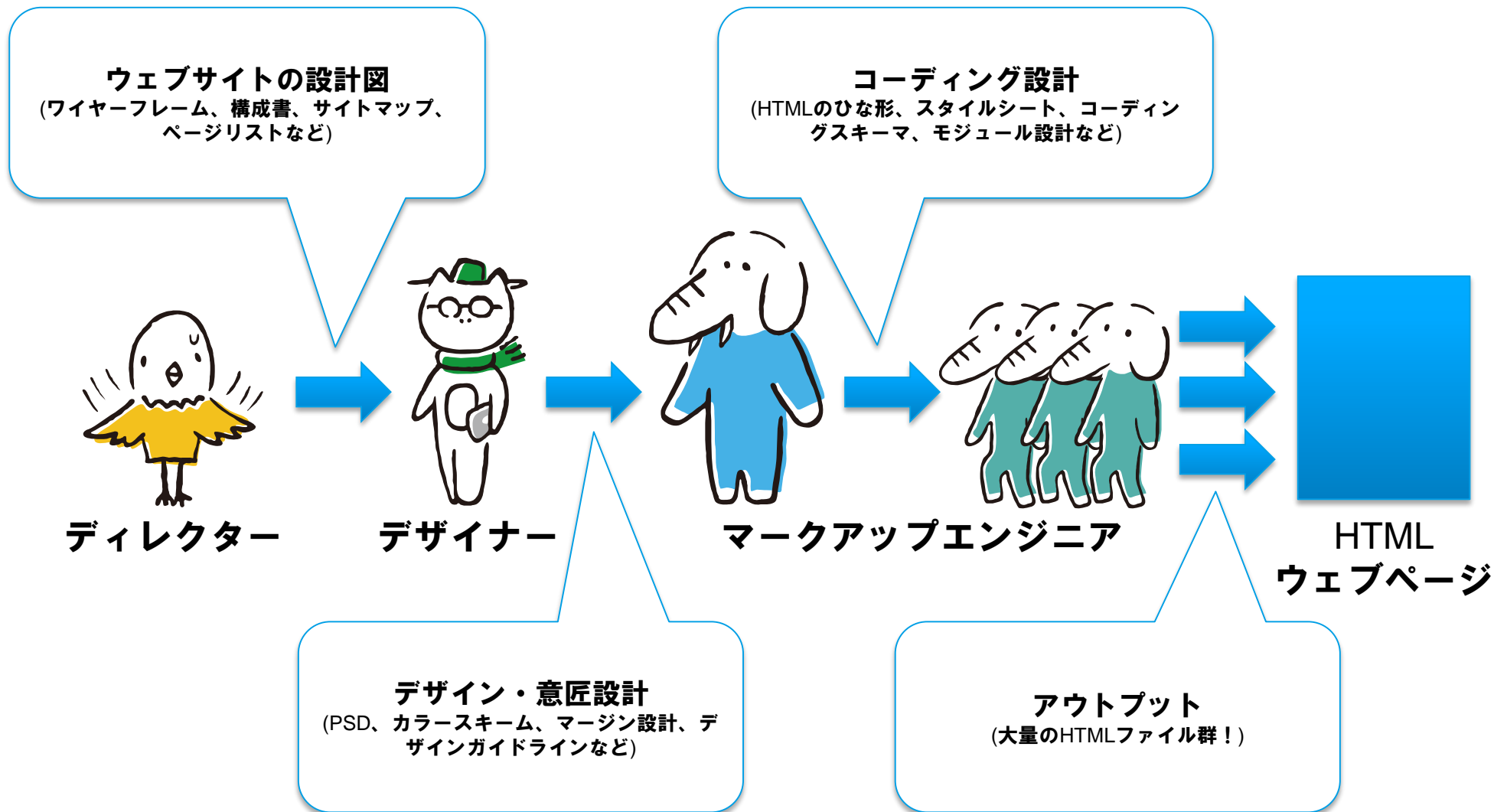
**きっと、ウェブ制作のお仕事がスムーズになります。
制作に携わるチームのみんなが、納得できるワークフローに変わります。**

**そうすることで、これまでのウェブ制作のお仕事を、
より創造的で、より充実した時間に変えることができれば嬉しいです。**

将来のユメ

ウェブ制作の現場では、分業で仕事をすることが多くなりました。

分業だから、コミュニケーションのための中間成果物がたくさん必要。

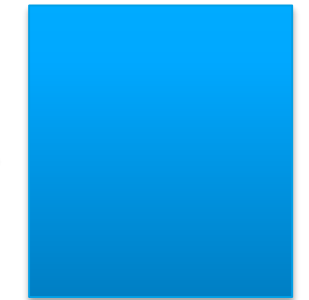


ディレクターが設計したら、すぐにウェブページができてしまう！（ように、将来はなりたいと思います）

PxFWでウェブサイトを設計すると、
そのままダイレクトにウェブページが作れる、
ウェブデザインツールにしていきたいと思います。



ディレクター



HTML
ウェブページ

デザインのルールと、
部品になるイメージを
作ります！



デザイナー



マークアップ
エンジニア

デザイナーがデザインした色やレイ
アウトの規則を、編集ツールのUIに
反映します！

Pickles Framework は、
静的で大きなウェブサイトを効率よく構築できる
オープンソースのフレームワークです。

データベース不要、PHP5が動くサーバーに手軽に導入でき、
プロトタイプ制作を中心に進めるような
柔軟な制作スタイルを実現します。

<http://pickles.pxt.jp/>



ありがとうございました！

～Pickles Framework のダウンロードについて～

- Pickles Framework は、オープンソースのフレームワークとして、Github上で有志により開発されています。
- より詳しい情報は、Pickles Framework の公式サイトをご覧ください。
<http://pickles.pxt.jp/>
- ご要望やバグなどにお気づきの方は、Github Issue に投稿してお知らせください。みなさんのご協力をお願いします。
<https://github.com/tomk79/PxFW-1.x/issues>
- 一緒に開発に参加してくれる方も募集しています。